

麻妻大使によるナミビア科学技術大学での補正予算 UNDP 案件引渡式への出席
(令和7年6月24日)

令和7年6月24日、麻妻大使は、ナミビア科学技術大学で開催された補正予算 UNDP 案件「気候変動による緊急事態に共同で対応し、人間の安全保障と環境に配慮した変革を維持するための回復力のある開発経路を確立するための支援」の引渡式典において挨拶を行いました。

高度なモジュール式設備の受益者は同大学エネルギー研究所（NEI）で、太陽光充電式電動自転車（E-バイク）の受益者は、ウィンデック市自治体の小規模都市近郊園芸農家でした。式典後、代表団はモジュール式設備と E-バイクの操作方法に関する現地での実演を視察しました。



(左から) 山田書記官（大使館）、イレカ氏（NEI）、エロンボ所長（NEI 所長）、ティトゥス課長（産業・鉱山・エネルギー省）、ナオマブ副学長（ナミビア科学技術大学）、麻妻大使、シングロ UNDP ナミビア副代表、ムルンガ副次官代理（農業・漁業・水・土地改革省）



E-バイクに試乗する麻妻大使（左）とモジュール式設備を視察する一行